

事務事業名	栃木県防犯協会幼児誘拐防止活動参画事業				担当	市民生活部 安全安心課 生活安全係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	11	防犯対策の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成6 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	13. 諸費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	栃木県防犯協会が実施している幼児誘拐防止活動へ参画している。 市は負担金を支出し、広報車派遣申し込みの取次ぎを行っている。 幼児誘拐防止活動事業は、県内幼稚園、保育所を通じて幼児誘拐防止の指導をしており、誘拐防止広報車（まもる号）が、県内幼稚園、保育所等を巡回して、子どもたちに不審者への対応や誘拐防止の心構えなどを、ぬいぐるみや劇を通して指導している。 小学生へは、パンフレット等による広報活動を行っている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 協会へ負担金の支出、広報車の派遣申し込み取次ぎ 26年度計画 25年度と同じ		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
		ア 負担金の額	千円	294	294	293	293	293
		イ 誘拐防止広報車（まもる号）の指導回数	回	10	10	10	10	10
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 児童、幼稚園児、保育園児		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
		ア 児童（小1～小4）、園児の数	人	5,396	5,396	5,293	5,219	5,200
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 児童等が誘拐などの犯罪に巻き込まれないように啓発する。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
		ア 講習等を受けた園児の数	人	1,452	1,129	1,015	1,440	1,500
		イ パンフレット等による指導を受けた児童の数	人	4,777	4,790	4,278	4,713	4,664
		ウ 幼児誘拐の犯罪件数	件	0	0	0	0	0
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 安全安心のまちづくり		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
		ア 日ごから犯罪に不安を感じている市民の割合（市民意向調査）	%	72.1	69.3	73.5	72.5	71.4
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	294	294	293	293	
	事業費計(A)	千円	294	294	293	293		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	4	4	4	4	
		人件費計(B)	千円	17	17	16	16	
トータルコスト(A)+(B)		千円	311	311	310	309		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	誘拐等の犯罪から幼児を守るための対策として、県防犯協会による誘拐防止事業に参画した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	依然として、幼児・児童に対する連れ去り未遂やワイセツ行為、不審者の出没等が発生している。 平成17年に起こった今市での児童連れ去り殺人事件以降、地域ボランティアによる防犯パトロールなど、子どもを事件から守るための活動が市内一円で実施されている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	広報車派遣要望が、多く寄せられている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童等の安全確保のための事業であり、安全安心のまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 児童等の安全確保のための事業であり、安全安心のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 児童等が誘拐などの犯罪に巻き込まれないように啓発している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 県防犯協会と連携をとり、幼児の誘拐犯罪防止に努めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 幼児誘拐防止活動の機会が減少する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 県防犯協会への負担金である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							